

5Sプロジェクト推進に 必要なツールをオンラインで提供します

組織活性化マニュアル (1冊+PDF)

5S活動のノウハウを1冊の本に集約！事例豊富で実践型の5S活動マニュアルです。写真・図・ツール等、実際に5S活動に取り組んだ企業様の事例を解説付きで掲載。ビジュアル的に分かりやすいように実際に取り組まれた企業の5S活動前中後の写真を多数掲載しています。自社と比較して自分たちがどの程度やるのか、やらなくては行けないのかの目安となるはず。



帳票ツール一式

5Sプロジェクトで使用する各種資料、帳票です。こちらの資料を参考にしながら自社オリジナルに書き換えていき、わかりやすい活動にしましょう！



キックオフ講演DVD 個別動画

全社キックオフ時に使用するキックオフ講演DVDと初回調査の際の「気づき」をまとめ、活動のウエイトについて解説した個別動画をご提供します。キックオフの際の教材としてご利用ください。



Webとじき塾 会員サービス(半年間)

弊社会員サービス「Webとじき塾」に半年間ご利用いただけます。毎週1本の「とじき週礼」や月1回のスキルアップ講習会「オンラインとじき塾」など様々なコンテンツが閲覧できます。



価格

組織活性化プログラム

個別訪問1回
集合研修4回
オンラインフォロー1回

集合研修会場
博多駅周辺 会議室(予定)

850,000円(税抜)

※個別訪問時の旅費交通費は実費頂戴いたします。

【オプション】
キックオフ講演等での訪問:100,000円(税抜)

※5社限定スタート

お問い合わせ・お申し込みは担当者までご連絡ください。

※企業全体で本プログラムに関してコンサルタントの指導に積極的に従い、主体性をもって必要文書の作成・実行・是正処置・その他問題提起・準備事項の納期遵守等、プログラムの定着に向けた一切の活動に努力を惜しまないものとします。
※プログラムの進捗に関して、当社は可能な限り最大限の努力をもって、対応を行いますが、参加企業様の都合による進捗の遅れに関しては責任を負わないものとします。
※プログラム参加企業様への個別訪問による指導は、本基本プログラムには含まれません。
※個別の訪問指導が必要な場合は、参加企業様とお打ち合わせの上最適な提案をさせていただきます。個別指導に関する費用は、本プログラム加費用とは別途とさせていただきます。
※本プログラムお申込後の解約は、プログラム開催3日前までにご連絡が無ければ解約できないものとさせていただきます。プログラム途中で解約は出来ませんのでご注意ください。
※本プログラムに関連して、参加企業様から当社に対して開示される、諸資料と各種データは参加企業様の知的所有権であり、(当社はこれらを本プログラム履行以外に使用することはありません。守秘義務契約を別途結び第三者への守秘義務を負うものとします。
※本プログラムの基本料金では、5名/1社まで参加することが出来ます。最低2名様以上でご参加ください。6名以上参加される場合は、参加費として1名様につき1万円/回を参加費としてご請求いたします

お問合せ

株式会社経営改善支援センター

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6-25-8F

TEL:092-283-5470

URL:<https://sien.co.jp>



5S活動 × 人材育成

新・5S活動プロジェクト

株式会社経営改善支援センター

「ハイブリッド5S」のススメ！

ハイブリッドとは「組み合わせる」という意味です。例えばガソリンで動くエンジンと電気で動くモーターを搭載している車をハイブリッド車と呼んだりします。

3年近いパンデミックも終息を迎え、ようやく社会も平常を取り戻しつつあるように見えます。しかし3年間はやはり長かったようで、社会や組織に新たな変化を生みました。

中学・高校・大学の学生たちがマスク姿で部活や授業が制限され、遠足・体育祭・修学旅行ができなかったことを想像すればその変化の重大さが理解できるでしょうか。

企業組織においてもコミュニケーションや育成に支障があり【価値観】の統一に関して希薄化やばらつきが顕在化しています。

5S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔、躰という要素を全社で展開し意識の統一を図り、生産性を高めようとする試みでした。その効果は大きく多くの企業がこの活動を起点として飛躍を遂げてきました。

しかしながら、この3年間の出来事で、価値観や働く仲間への共感が失われてしまったようです。

世代の壁を乗り越え、組織の存続と発展を目指すためには「5S活動」と「人材育成」を組み合わせた新しいタイプのアクションが必要です。

- 事前調査
- キックオフ
- 5S活動の実践
- 課題抽出
- 自社ルール策定
- 運用スタート
- ブラッシュアップ

組織風土を一変させる 未来を描く新・5Sプロジェクト

業務のスペシャリストが必ずしもマネジメントのスペシャリストに育つわけではありません。

一度見込みのある、資質のある若い世代に「プロジェクト」を任せましょう。

「プロジェクトリーダー」のプロセスが必ず人を育てます。

5S活動はその最適なプロジェクトです！

組織活性化コンサルタント
(株) 経営改善支援センター 代表

戸敷 進一

Tojiki Shinichi



「動く」ことから 未来の組織が生まれます

「5S活動」とは、「整理・整頓・清掃・清潔・躰（しつけ）」という5つの要素を効果的に組織内に落とし込み、大きな時代変化の中で勝ち残っていくために行う「全社取り組み」のことです。

「片付けたくらいで会社が活性化するか？」などという言葉がどこからか聞こえてきそうですが、なかなかどうして、これをある程度まで上げるとかなりタフな組織になります。

何しろ組織はさまざまな世代や立場で構成されているので簡単に「全社一丸」になる事ができません。当然価値観や危機意識の有り様が違うので、単純に片付けと考えると一切効果を生み出さません。年末の大掃除や盆前の掃除が三週間で元に戻ってしまうのは単なる片付けをやっているからです。

それに対して「5S活動」は、組織運営のシステムツールです。整理という不要なものを捨てるという活動で共有されるものに対する価値観。整頓・清掃という表示や点検保守活動という継続を生み出す仕組み。何よりも、顧客や働く人たちが評価する清潔、そして共通の目的や目標に向かって全員が躰けられている状態。そうしたものを構築する中で、時代に合った組織イメージを組織の末端を含んだ全員で共有することが出来ます。

経営計画での目標の確認、会議等におけるコミュニケーションの確立、経営方針などから要求される貢献意欲などこの会社でもやっていることもかもしれません。しかしながら従来の形の多くは上から下へという業務の流れと同じ「命令」という性質を持っています。それに対して「5S活動」は、それぞれの構成員が全社と部分（部署）を意識しながら、下と横の活動になります。機械の位置や通路はこれでよいのか？ 机の配置や印刷機の位置は？ 書類の数量や保管場所は？ 倉庫の佇まいと適正在庫とは？ 店舗の有り様や社有車の清潔度は？・・・こうしたことを「全員で考え」「全員で動く」事により、目標の共有やコミュニケーションの質や本来の役割分担を考えるきっかけを得ることができるのです。

経営者 リーダー メンバー 全従業員

プロジェクトを通して、 それぞれの役割を持たせながら 真のコミュニケーションを醸成する。

Support Tools

プロジェクトツール

5 S 活動プロジェクトを効果的、効率的に進めていく上で必要な各種ツール（工程表・赤札・各種サンプル等）をご提供します。
また Web とじき塾会員として半年間サービスをご利用いただけます。5 S に関連する動画やマニュアル、メンバーの意識を刺激させるコンテンツも合わせて活用していただくことで、5 S 活動の精度を向上させることを狙っています。



全社一丸 全員参加のプロジェクト

Point!
NO.01 自分達では難しいスクラップ&ビルドを
全社一丸で一気に取り組む！

組織は3年もすると直ぐに『垢』がついてきます。ましてや創業数十年にもなれば言うまでもありません。時代変化に対応するためにはこの『垢』と向き合う必要がありますが組織内で解決するには難しい課題です。5 S プロジェクトでは状況を整え、手順を追ってこの『垢』と課題を顕在化し一気に整理します。

※本サービスでは講演 DVD+ オリジナル動画をご提供します。



▲全社キックオフ

利益意識を醸成させる！

Point!
NO.03 生産性を意識した活動
組織の中にはお宝が眠っている

組織の『存続と発展』に必要な利益の意味と重要性を理解させ、活動のなかで「生産性」の視点を徹底的に仕込んでいきます。

5 S 活動で抽出される利益阻害要因を管理項目に組み込むことにより5 S 活動を具体的な生産性向上活動にレベルアップさせます。



▲整理
効率を考えた配置

▲整理 表示に原価を入れる

会社が変わる！生産性が上がる！

Point!
NO.02 徹底的な5S活動による
「基準」のビジュアル化とルール化

5S 活動の良い所はビジュアル化され誰もが意味と効果を理解できることです。日常何気なく活動していると見落としがちな非効率性や非生産性を徹底的に追求・改善することにより生産性を向上させることが可能です。経営改善支援センター独自の到達基準を組織で共有することで通常の取り組み以上の効果を約束します。



▲5S活動（整理）の実践

自社の基準をアップグレード！

Point!
NO.04 「他社から学ぶ！」
異業種混合集合研修 + 個別課題解決支援

メイン講習は他社と受講していただきます。業種・規模・地域が違う企業と改善プロセスを共有することにより、自社のポジションを認識し、改善チームの取組みイメージを広げます。

他社の課題や活動阻害要因を客観的に感じて「気づき」を導き自社の殻を破るきっかけを作ります。



▲プログラム研修風景



訪問 と 集合 形式の研修の組み合わせ

新・5S活動プロジェクト サービスフロー

概ね6ヶ月のプロジェクト期間となります。

個別訪問

事前調査

対象 経営者・メンバー他

推進メンバーの選抜 幹部・推進チームへの取り組み説明
社内現状調査（写真撮影）

組織活性化プログラム参加企業様へ訪問し、経営者ならびに幹部の皆様へ今回の取組の目的をお尋ねし、共有します。

その目的達成のためのプロジェクトチームの選定についてアドバイスを行うと同時に、社内を周り現状、仕事の流れ、課題などをヒアリングしていきます。同時に写真撮影をし、5S活動のウエイトをイメージしていきます。この際に、キックオフの意義を説明しながら、開催日を決定します。



準備
01

自社開催

全社キックオフ

キックオフ講演 DVD

+

オリジナル動画 (15分)

対象 全社全員

組織全体にプロジェクトの目的とゴールを示し、
スタートしたことを浸透させます

キックオフの目的は、プロジェクトがスタートした事を組織全体に通達し、目的や到達レベルを共有することです。その際に、ポイントとなるのは経営者様が本気でこのプロジェクトの取組目的とゴールを全社員に伝えることができるかどうかです。これは、経営者様以外の誰にもできません。当たり前ですがいい加減なスタートであれば、組織全体がいい加減な認識を持ちます。推進チームの人たちが活動中苦戦するか否かもキックオフにかかっています。プロジェクトの中で経営者様の重要な仕事となります。講演DVDならびに、オリジナルビデオを活用していただきます。

(戸数進一の訪問講演はオプションとなります。)



準備
02

集合研修

ガイダンス+活動計画立案

(5S技術 整理・整頓)

対象 プロジェクトメンバー

- 整理・整頓活動の目的と手法を理解する
- 整理整頓活動の準備事項を理解する
- 帳票を作成し、社内調整(会議・教育訓練)を行う

- ・ 自社現場写真確認
- ・ 基本講義：整理技術とフロー
- ・ 整理活動：捨てるもの基準
- ・ 捨てるものリスト・予算
- ・ 赤札活動解説
- ・ 全社一丸磨き上げについて
- ・ 基本講義 / レベル解説
- ・ 他社事例紹介と表示技術
- ・ 再配置計画について解説
- ・ 【実践】捨てるもの基準作成
- ・ 【実践】活動計画工程表作成

初回はプロジェクトの全体像の共有と、最初の2Sについて学んで頂きます。整理・整頓の意味と目的を理解し、自社のプロジェクト目的に照らし合わせどこまで取り組むのかレベルをイメージします。

特に整理の段階ではどこまでその組織が追求するかが重要なポイントとなります。チームに可能な限り、高レベルなイメージを持っていただくことが最大の目的となります。5S技術と合わせて、組織での活動手順を伝え、プロジェクトの進め方を学び実践して頂きます。

STEP
01

集合研修

生産性と5S

(5S技術 清掃・清潔・躰・ルール)

対象 プロジェクトメンバー

- 5S活動と生産性について理解する
- 整理整頓活動で重視する点を抽出する
- 整理整頓活動を実施する

STEP
02

整理整頓活動。「動くこと」でいろいろな気づきや課題がでてきます。それらに対してどう対応するのか。何が原因なのかを事例を混ぜながら解説していきます。また、5S活動を生産性の視点でみていくことで、多くの改善点がこの活動のなかからアイデアとしてでてきます。

何度かメンバーで集まって考える機会が増えてきます。その際に必要な報連相についてもしっかりとお伝えして「全社一丸」の意味をもたせていきます。

- ・ 活動実践報告～組織課題抽出
- ・ 5S活動と生産性の関係
- 事例：整理整頓と利益
- 事例：清掃・清潔 仕組み = ルールづくり
- 躰 コストゼロのマーケティング
- ・ 他社事例紹介 ~5S活動から「1円を拾う」仕組みへ～
- ・ 【実習】 自社整理整頓活動における重点ポイントと活動のレベル設定

集合研修

組織活性化ルール

(利益管理)

対象 プロジェクトメンバー

- 組織課題を整理する
- 利益管理システム(絶対利益管理)を理解する
- これまでの活動をまとめる

STEP
03

5S活動・利益管理システム、組織活性化要素を加味した組織活性化ルールを完成させます。5Sルール、絶対利益管理ルールなどをまとめあげ、「自分達の身体を通った真の言葉」で書かれているかを確認していきます。運用のキックオフに向けての段取りを伝えていくなかで、教育訓練計画や、利益の管理方法などについても精査していきます。

- ・ 活動実践報告～組織課題抽出
- ・ 社内ルールの要素解説
- ・ 社内ルール作成
- ・ プレゼンテーション
- ・ チェックリストに必要な要素
- ・ 課題解決の5要素
- ・ 課題解決実習

この間に進捗確認のため、オンラインでのミーティングを実施(個別)

集合研修

運用準備・プレ発表会

集合

対象 プロジェクトメンバー

- 5S活動と生産性について理解する
- 整理整頓活動で重視する点を抽出する
- 整理整頓活動を実施する

STEP
04

プロジェクトのゴールは、活動の成果と進捗を「全社」に報告し、共有する「中間発表」をプロジェクトメンバーで開催することです。

どんなプロジェクトでも共有なくして理解してもらえません。なぜこういう動きになったのか、今後どうしていきたいのかをきちんとメンバーの口から発表することが重要です。また、運用後、5S活動の次のステップについてイメージ付けをする講義を行います。

- ・ 活動実践報告～組織課題抽出
- ・ 5S活動と生産性の関係
- 事例：整理整頓と利益
- 事例：清掃・清潔 仕組み = ルールづくり
- 躰 コストゼロのマーケティング
- ・ 他社事例紹介 ~5S活動から「1円を拾う」仕組みへ～
- ・ 【実習】 自社整理整頓活動における重点ポイントと活動のレベル設定

自社開催

運用キックオフ

自社

対象 全社全員

活動を振り返り、達成度や新たに抽出された課題を共有。
組織活性化ルールの運用開始を全社に伝えます。

活動を通じて集約された組織活性化ルールの運用開始です。活動全般を振り返り、戸数が達成された点、新たな課題を全社員に伝えます。組織全体にゴールではなくスタートである事を確認します。

(戸数進一の訪問講演はオプションとなります。)



運用